

令和2年度 地域復興実用化開発等促進事業費補助金（第2次公募・新規）採択結果一覧

1 廃炉分野

No.	事業計画名	概要	企業・団体名	実用化開発場所
1	耐放射線カメラのカラー化技術の確立とその生産工程および拠点の確立	高濃度放射線環境下においても“安定したカラー動画撮影”が可能な耐放射線カラーカメラを開発する。更にそれを製品化する為の製造工程も確立する。この耐放射線カメラを福島原発廃炉工程に投入する事で、各廃炉作業工程を継続的に支援することにより、処理工程の短縮および確実性を実現する。更には耐放射線カメラの製造における雇用も確保する。	マツハコーポレーション(株) 《5040001073895》	神奈川県
			(株)ミライ・トラスト 《1380005011458》	いわき市

2 ロボット・ドローン分野

No.	事業計画名	概要	企業・団体名	実用化開発場所
1	産業用水中ドローンのコンポーネントおよび水中版「フライトコントローラー」システムの開発	産業用水中ドローンの実用化開発。本事業では、産業用水中ドローンの普及拡大に不可欠である製造性向上のためのコンポーネント開発および音響センシングにより自律制御する水中版の「フライトコントローラー」システムの開発を行う。	(株)FullDepth 《3050001037744》	南相馬市
2	日本車の信頼性を持った、安全・安心な産業用中大型ドローンの開発	日本車水準の信頼性を持った産業用中大型ドローンを実現するため、「産業用中大型ドローン開発連携基盤」を開発し、それを活用して地域連携による産業用中大型ドローン標準プラットフォームを開発する。	(株)先端力学シミュレーション研究所 《2030001047878》	南相馬市
			(株)アテック 《5011601000366》	東京都

3 エネルギー分野（採択なし）

4 環境・リサイクル分野（提案なし）

5 農林水産業分野

No.	事業計画名	概要	企業・団体名	実用化開発場所
1	食の安心・安全を確保する食肉用軟骨自動判別とその自動切除装置の開発	新規な X 線透過技術、X 線検出技術、AI 画像処理技術を活用し、外食産業などで強く要望されている「食肉中の軟骨を自動的に選別できる装置」の開発を行い、食肉検査市場に安心・安全を目指した新しいサービスを提供します。また従来の X 線検査装置では見つけることが難しかった軟骨を自動認識し、これを自動的に切除を行い、食肉の安心安全を確保するとともに付加価値の高い食肉を供給する高度なサービスを提供する。	(株)三和製作所 《9020001046940》	南相馬市

6 医療関連分野

No.	事業計画名	概要	企業・団体名	実用化 開発場所
1	ゲノム編集技術を基盤としたニワトリ鶏卵における抗体などタンパク大量生産の実用化開発	ゲノム編集技術を基盤とする革新的な細胞加工技術 VIKING 法を活用し、ニワトリ鶏卵による抗体大量生産を実現する「次世代型生物工場」の実用化開発を行う。有用タンパク質を産生する技術基盤としての活用も期待でき、福島県浜通り地域から新たな産業の創出を目指す。	(株)セツロテック 《8480001009927》	南相馬市

7 航空宇宙分野

No.	事業計画名	概要	企業・団体名	実用化 開発場所
1	eVTOL の推進系多重化技術の実証	eVTOL の安全性向上手法のひとつとして、回転翼（以下、ローター）を多発化することによる冗長化が挙げられる。本事業では、将来の製品化に向けて、弊社がこれまで開発してきた機体の安全性をさらに高めるため、ローターを最低浮上発数以上に多発化する場合の機体制御技術等を獲得することを目指す。そのために、弊社がこれまで開発してきた電源系や制御系を応用した、6 発以上のローターを持つ eVTOL を実際に製造し eVTOL 向け多重化技術を確かめる。	テトラ・アビエーション(株) 《1010001192371》	南相馬市